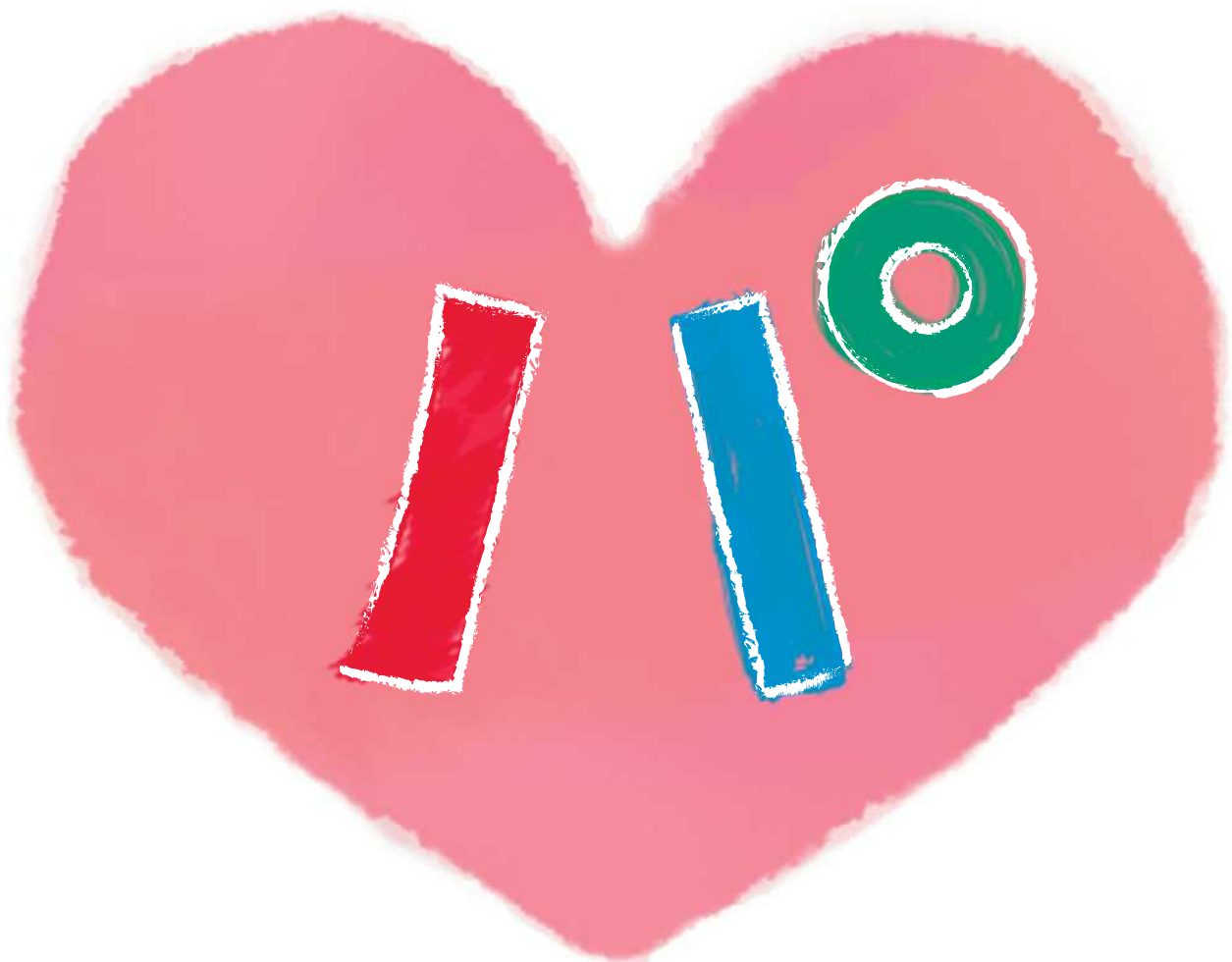


めざせ！やさしさ日本代表！

みんなの違いを活かせるチーム。

障がい、年齢、人種やLGBT、いろんな個性をチャンスにしよう。

川崎らしく、力強く。未来を変えていく力は私たちの中にある。



かわさきパラムーブメント

二次元バーコードをスマートフォンで読み取ると、テキスト読み上げ機能を使って音声で情報を取得できます。切り込みはその近辺に二次元バーコードがあることを触って認知いただくための仕様です。

A€SSIBLE





かわさきパラムーブメント みんなで取り組んでいきましょう

令和3(2021)年夏、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け1年の延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。多くの競技が無観客という異例の大会となりましたが、アスリート達は自らの限界に挑戦し、その姿を通じて私たちに感動と希望を与えてくれました。特にパラリンピックは史上初となる2回目の同一都市の開催となり、参加人数も前回の東京大会に比べ、10倍以上になるなど、その価値は高まり続け、今大会でも共生社会の実現に向けた世界への大きなメッセージを発信してきました。

さて、本市では東京2020大会を契機として、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていくために「かわさきパラムーブメント」を平成28(2016)年から推進しており、このたび「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」として見直しを行いました。

この間、共生社会の実現に向けた様々な取組を行ってきましたが、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、残念なことに新たな社会的障壁も生まれており、私たちの目指す共生社会はまだまだ道半ばと感じています。東京2020大会が終わった今こそ、共生社会の実現に向け、より一層取り組んでいく必要があります。そのためには、市民の皆さんとともに一緒に実践し、行動していく必要がありますので、引き続きご協力をお願いいたします。

川崎市長

福田 紀 彦



かわさきパラムーブメントは、「誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくり」を目指し、誰もが交じり合う「共生社会」の実現にむけ、取り組んでいるものです。

人は様々な個性をもっています。それぞれの個性を活かしながら、やさしさあふれる「かわさき」を市民のみなさんと創りあげていきます。

かわさきパラムーブメントでは

1 教育



2 心のバリアフリー



3 ハードのバリアフリー



4 スポーツ



5 文化・芸術



6 地域コミュニティ活動



7 就労等による社会参加



の7つの分野ごとにレガシー(未来に遺すもの)を形成するための取組を行っています。

この冊子は、かわさきパラムーブメントがみなさんの日常の中にあることを知るひとつのきっかけとして作成したものです。

子どもたちの心を育むこと、 それは未来を創ること

未来を担う子どもたちが多様性を理解して、互いを尊重する感覚を持ってもらいたい。
そのためには、様々な背景のある人が一緒にいることが当たり前な環境をつくっていか
なければなりません。

子どもたちがいろいろな人と交わる機会をより増やすことを考えていきましょう。

1

レガシー

多様性を尊重する社会をつくる 子どもを育むまち



これも



パラマー・グランド

川崎市立御幸小学校
障がいのあるなしに関わらず
一緒に楽しく、
笑顔あふれる学校生活を
送っています。

2

レガシー

心理的バリアが解消されたまち ～心のバリアフリー～



これも



パラムーナング

Theアート・プロジェクト多文化読み聞かせ隊
日本語だけでなく多言語での読み聞かせを
行っています。言語、文化の違いだけでなく、
障がいや多様性、平和をテーマにした
読み聞かせも行っています。

互いに個性を尊重することが、
人と人をつなげていく

誰もが気兼ねなく交流、生き生きと暮らせるまちをつくりたい。

そのためには、年齢、性別、国籍、障がいのあるなしなどにかかわらず、様々な人との
違いを認め合い、行動することが重要です。

まずは、コミュニケーションを取り、互いの違いを知ることからはじめてみましょう。

3 レガシー

社会的バリアが解消されたまち
～ユニバーサルなまち～



これも



パラメータX

南武線・津田山駅

自由通路の開通により、エレベーターが設置されバリアフリー化が進み、安全かつ安心して駅を利用することができます。

誰にでもやさしくて便利、
住み良いまちに

不自由を感じる事のない、誰にでもやさしいまちにしたい。

そのために大事なことは、多様な意見に耳を傾け、自分と異なる視点に気づくこと。

私たちが心掛けてみませんか。